

業務ソフトウェア要件

教務・学生システムソフトウェアは、下記の要件を満たすこと。

1. 1. 共通

1. 四年制大学及び大学院において十分な使用実績があること。
2. 学内ネットワーク端末から、システムの機能が利用できること。なお、学外からの利用は出来ないものとする。
3. ユーザが自分自身のパスワードを変更できること。
4. 実行中及び実行済みのバッチ情報を照会できること。
5. ユーザが利用するプリンタを設定できること。
6. 初期設定ファイル等に設定されている各種設定情報を設定できること。
7. テストデータ環境へデータのコピーができること。
8. テスト用データベースに対するデータコピー権限が設定できること。環境間データコピー機能を利用する際には、この権限内で利用ができること。
9. 注意事項などを記述したファイルを登録できること。
10. 障害調査に必要なログ情報を取得できること。

1. 2. 入試機能

入試機能で登録した新入生のデータは教務機能に引き継げること。

1.2.1. 業務設定

1. 入試業務年度・学期の登録ができること。
2. 入学試験が実施される年度、期の登録ができること。
3. 学校名称、代表者名（英語名）等、学校情報の設定ができること。
4. 志願票に記入する評定平均値の整数桁を 1 か 2 で指定できること。
5. 入試統計データの保存期間、成績集計時の席次を決定する条件が設定できること。
6. 過年度志願者情報の保存期間、保存対象者、対象テーブルの設定ができること。
7. 希望学科組織種別の名称を希望順位ごとに設定できること。
8. 可否種別を設定できること。
9. 入学手続きを管理する項目名称を設定できること。
10. 大学入学共通テストに関する情報を設定できること。
11. 保証人（保護者）の続柄、種別情報の登録ができること。
12. 志願者に関する自由設定項目が設定できること。
13. 問い合わせ者に関する自由設定項目が設定できること。

1.2.2. マスタ設定

1. 国籍情報の登録ができること。
2. 本籍地情報の登録ができること。
3. 出身地情報の登録ができること。
4. 試験場の登録ができること。
5. 出身校の学科情報、課程情報の登録ができること。
6. 出身校の学校種別情報、設立区分情報の登録ができること。
7. 出身校情報の登録ができること。
8. その他出身校等（予備校など）の登録ができること。
9. 試験科目の登録ができ、登録した試験科目情報の一覧を出力できること。
10. 大学入学共通テストで使用する出身校学科に関する情報の登録ができること。
11. 大学入学共通テストで利用する学部、試験区分の登録ができること。
12. 大学入学共通テストを利用する成績請求票種別及び試験日程区分の略称の登録ができること。
13. 欠格理由の登録ができること。
14. 入学辞退理由の登録ができること。

1.2.3. 志願者受付

1. 所属学科組織の登録ができること。
2. 当入学年度、学期 NO で使用する所属学科組織の配当ができ、登録した配当情報を一覧で出力できること。
3. 入試種別情報の登録ができること。
4. 入試要項情報（入試種別、学科組織、受験教科などの科目情報）の登録、更新、削除ができ、登録した入試要項の一覧を出力できること。
5. 入試年度、入試学期、入試種別、学科組織、試験場、試験教科、事前選択科目を指定して、志願者の受験番号の付番ができること。
6. 志願者台帳の登録ができること。CSV ファイルを読み込み、志願者を一括して登録できること。また、登録済みの志願者データの修正ができること。
7. 登録した志願者情報の一覧を第一希望学科の受験番号順、又は五十音順に出力できること。
8. 志願者情報を照会し、その結果を画面に表示できること。
9. 志願者台帳から自由設定項目が CSV 形式でファイル出力できること。
10. 登録した志願者情報から、併願者（同一人物）のチェックを行い、併願者の一覧を出力できること。
11. 試験机に貼る受験番号札（座席カード）の出力ができること。
12. 入試年度、入試学期、入試種別、学科組織を指定して、推薦指定校情報の登録ができること。

1.2.4. 入試成績管理

1. 採点データ（得点及び評価）の登録、変更ができること。また、CSV ファイルを読み込み、採点データを一括で登録できること。
2. 登録した採点情報を採点簿として出力できること。
3. 欠席者の登録、変更ができること。また、CSV ファイルを読み込み、欠席者の情報を一括で登録できること。
4. CSV ファイルを読み込み、欠格者の情報を一括で登録できること。
5. 志願者ごとに調整点の登録、変更ができること。また、偏差値集計点に対する調整点が登録できること。
6. 入試成績台帳の得点（換算点）をもとに偏差値計算が行えること。また換算計算した得点と偏差値を、志願者受験段階に集計できること。
7. 成績未登録者及び成績にエラーのある受験者の一覧が出力できること。
8. 採点登録されている教科が、高得点採用教科の選択数に満たない受験者を、入試種別、学科組織ごとに一覧を出力できること。
9. 志願者の成績一覧が出力できること。
10. 受験教科の科目別に、加算配点、標準偏差値、最低得点、最高得点、平均点の一覧が出力できること。
11. 刻み点を指定して、科目点分布票を出力できること。
12. 得点刻みごとに、受験者の集計点を指定した人数を集計し、出力できること。

1.2.5. 合否判定処理

1. 成績集計の結果をもとに志願者の第一希望学科組織についての合格ラインを判定できること。
2. CSV ファイルを読み込み、合否結果を一括で登録できること。また、登録した合否データの登録、変更ができること。
3. 登録した合否情報を合否判定資料として出力できること。
4. 受験者の合否結果の一覧を学科組織ごとに出力できること。
5. 受験者向けの合格通知書（合格通知書、補欠通知書、不合格通知書）の文面の登録ができること。また、登録した学生向け合否通知書の出力ができること。
6. 受験者の出身校向けの合否通知書（合否通知書、補欠通知書、不合格通知書）の文面の登録ができること。また、登録した出身校向け合否通知書の出力ができること。
7. 出身校宛名ラベルの出力ができること。
8. 入試発行管理台帳の出力ができること。

1.2.6. 入学手続処理

1. 入学手続別に入学手続の登録、変更ができること。

2. 個人ごと（志願者ごと）に入学手続の登録、変更ができること。また、CSV ファイルを読み込み、入学手続を一括で登録できること。
3. 入学試験の合格者から入学手続の完了者・未完了者及び入学辞退者の一覧を出力できること。
4. 個人別（志願者別）に入学辞退者の登録、変更ができること。また、CSV ファイルを読み込み、入学辞退者を一括で登録できること。
5. 合格者向けの入学許可証の文面が登録できること。また、入学許可証の出力ができること。
6. 入試学期、入試種別、学科組織指定して、入学手続を行った志願者の日計表（累計を含む）の出力ができること。

1.2.7. 大学入学共通テスト処理

1. 入試学期、入試種別を指定して「成績請求人数等内訳票」が出力できること。
2. 大学入試センターから提供された志願者の成績 CSV ファイルをチェックしながら登録し、大学入学共通テスト成績入力チェックリストを出力できること。
3. 大学入試センターから提供された志願者の出願状況 CSV ファイルをチェックし、まとめてセンター試験併願台帳に登録できること。
4. 入試種別、学科組織を指定して大学入学共通テスト併願状況を出力できること。
5. 志願者の他大学における合格状況等に関する資料を、大学入試センターに請求するための各種資料を出力できること。
6. 大学入試センターから提供された志願者の合格状況 CSV ファイルをチェックし、一括で志願者台帳、センター試験併願者台帳に登録できること。

1.2.8. 入試締め処理

1. 入学手続が完了した合格者を入学者として確定できること。
2. 志願者台帳から入試種別、入学手続ごとに入試人数状況情報を出力できること。
3. 志願者台帳から入試種別ごとに、浪人年数別入試人数状況表を出力できること。

1.2.9. 問い合わせ者管理

1. 問い合わせ者区分の設定ができること。
2. 問い合わせ者の登録、更新、削除ができること。また、CSV ファイルを読み込み、問い合わせ者を一括で登録できること。
3. 登録した問い合わせ者情報の一覧を出力できること。
4. 問い合わせ者情報を照会し、その結果を画面に表示できること。
5. 問い合わせ者自由設定項目情報の登録ができ、一覧を出力できること。
6. 問い合わせ者向けの宛名ラベルが出力できること。

7. 同一の可能性のある問い合わせ者を検索できること。
8. 当年度の問い合わせ者情報と、蓄積されている問い合わせ者情報とで突合せを行い、同一人物の可能性のある問い合わせ者の一覧を出力できること。
9. 入試種別を選択し、問い合わせ者と志願者の突合せを行い、同一人物の可能性のある問い合わせ者と志願者の一覧を出力できること。
10. 問い合わせ者に志願者番号を付番し、問い合わせ者データを志願者台帳へ転記できること。
11. 当年度又は過年度の問い合わせ情報から問い合わせ者統計表を出力できること。

1.2.10. 志願者募集管理

1. 問い合わせ者が利用する募集媒体を扱う業者に関する情報を設定できること。また、登録した情報の一覧を出力できること。
2. 募集媒体に関する情報を設定できること。また、登録した情報の一覧を出力できること。
3. 応募種別（問い合わせ者の方法や手段）に関する情報を設定できること。また登録した情報の一覧を出力できること。
4. 募集費用の管理を行う単位を区分として登録できること。また、登録した情報を入試年度、入試学期に配当できること。
5. 募集媒体別に「志願者数」「受験者数」「合格者数」「入学者数」「問い合わせ者数」を集計して出力できること。
6. 応募種別、募集媒体別に「志願者数」「受験者数」「合格者数」「入学者数」「問い合わせ者数」を集計して出力できること。
7. 入学年度・学期・費用管理区分を指定して募集媒体費用の設定ができること。
8. 募集媒体別費用対効果表を出力できること。募集媒体の経費と、志願者、受験者、合格者、入学者、問い合わせ者のそれぞれ一人あたりの経費を算出し、出力できること。

1.2.11. 入試広報

1. 卒業年度別者統計表、出身校別統計表の出力ができること。
2. 評定別統計表の出力ができること。評定平均値ランク別の志願者数、受験者数、合格者数、入学者数の出力ができること。
3. 出身地別統計表の出力ができること。出身地別の志願者数、受験者数、合格者数、入学者数の出力ができること。
4. 統計用データの作成ができること。出力形式は CSV 形式とする。

1. 3. 教務機能

1.3.1. 業務設定

1. 学務システムで共通に使用する学期情報の設定ができること。
2. 年度学期、学校名称、代表者名（英語名）等、学校情報の設定ができること。
3. 年度学期の開始日と終了日を設定できること。
4. 時限毎に、時限及び授業の開始時刻と終了時刻を設定できること。
5. 学校の休学日の設定ができること。
6. 保証人種別、続柄の登録ができること。
7. 出身校の評定値 MAX を設定できること。
8. 入学種別情報、就学種別情報、異動種別情報、出学種別情報、入試種別情報の登録ができること。
9. 証明書の発行番号を管理するパターンの設定ができること。
10. 各種証明書、各種通知書の文面の登録ができること。
11. 学生に関する自由設定項目の設定ができること。また、登録した情報の一覧を出力できること。
12. 学生に関する自由設定項目を使って対象学生の抽出ができること。
13. 教職員に関する自由設定項目の設定ができること。また、登録した情報の一覧を出力できること。
14. 教職員に関する自由設定項目を使って対象教職員の抽出ができること。

1.3.2. マスタ設定(共通)

1. 国籍情報の登録ができること。
2. 本籍地情報の登録ができること。
3. 出身地情報の登録ができること。
4. 出身校の学校種別情報、設立区分情報、課程情報、学科情報の登録ができること。
5. 大学入試センター試験で使用する出身校学科に関する情報の登録ができること。
6. 出身校情報の登録ができること。
7. 出身校の宛名ラベルを出力できること。
8. その他出身校等（予備校など）の登録ができること。
9. 教職員の身分情報、役職情報、職種情報の登録ができること。
10. 教職員の情報が設定できること。また、CSV ファイルを読み込み、教職員マスタ、自由設定項目を一括で登録でき、登録した情報の一覧を出力できること。
11. 教職員情報を照会し、その結果を画面に表示できること。
12. 教職員の宛名ラベルを出力できること。
13. 学校のキャンパス情報の設定ができること。
14. 教室情報の設定ができること。

15. 所属学科組織の登録ができ、登録した情報の一覧を出力できること。
16. 在留資格情報の設定ができること。
17. 異動理由情報の設定ができること。
18. 学校基本調査に必要なデータが集計できること。

1.3.3. マスタ設定(教務)

1. カリキュラム学科組織の登録ができ、登録した情報の一覧を出力できること。
2. 資格情報の設定ができ、登録した情報の一覧を出力できること。
3. 科目、授業に登録する種別情報の設定ができること。
4. カリキュラムで使用する科目の登録ができること。また、CSV ファイルを読み込み、科目マスタを一括登録でき、登録した情報の一覧を出力できること。
5. 科目の振り替えを行うためのパターン（振替元科目、振替先科目）を設定でき、登録したパターン情報の一覧を出力できること。
6. 成績の評価基準を設定でき、登録した情報の一覧を出力できること。
7. 授業の休講理由情報の設定ができること。

1.3.4. カリキュラム編成

1. 入学年度、学科等の組織ごとにカリキュラムを編成することができること。

1.3.5. 各種条件設定

1. 学部・学科等の学科組織及び年度毎に履修条件の判定条件を指定できること。
2. 学部・学科等の学科組織及び年度毎に履修制限の判定条件を指定できること。
3. 学部・学科等の学科組織及び年度毎に卒業見込の判定条件を指定できること。
4. 学部・学科等の学科組織及び年度毎に卒業の判定条件を指定できること。
5. 学部・学科等の学科組織及び年度毎に進級の判定条件を指定できること。
6. 学部・学科等の学科組織及び年度毎に資格取得条件)を指定できること。

1.3.6. 授業・試験時間割編成

1. 不合格となった学生の一覧を出力できること。
2. 当年度及び次年度に開講する授業の登録ができること。また、CSV ファイルを読み込み、授業マスタを一括で登録できること。
3. 科目開講漏れ、教室重複、教員重複のチェックを一括で行えること。
4. 授業時間割表、教員時間割表、教室の利用状況の出力ができること。

1.3.7. 履修登録処理

1. 資格用科目設定で設定した特定科目情報の一覧を出力できること。
2. CSV ファイルを読み込み、学生の履修情報を一括で登録できること。
3. 履修登録年度、学期、開講年度、開講学期、学籍番号を指定して、学生ごとの履修情報を登録できること。
4. 履修登録年度、学期、授業を指定して、授業ごとの履修学生を登録できること。
5. 履修条件及び履修制限のチェックを行い、チェックリストを出力できること。
6. 履修者単位状況情報の一覧を出力できること。
7. 他学科向けに開講されている授業の受講許可登録を学生ごとに行えること。
8. 他学科向けに開講されている授業の受講を許可されている学生の一覧を、学年、セメスタ、カリキュラム学科組織別に出力できること。
9. 履修未完了者の一覧を出力できること。
10. 学生の時間割表を出力できること。
11. 履修者の名簿を出力できること。
12. 授業者別の受講者人数の一覧を出力できること。
13. 教員別の授業別受講者人数の一覧を出力できること。

1.3.8. 出欠・成績管理

1. 出欠情報の登録対象を指定して出欠情報を登録できること。また、CSV ファイルを読み込み、学生の出欠情報を一括で登録できること。
2. 出欠簿を出力できること。
3. 現在年度、学期に構成されている試験を対象として採点簿を出力できること。
4. 試験の採点情報を登録できること。また、CSV ファイルを読み込み、試験の採点結果情報を一括で登録できること。
5. 採点のチェックリストを出力できること。
6. 終了年度、期と現在年度、期が同一である授業の内、履修採点に評価又は評価点が登録されている授業の成績を登録できること。
7. 学生の学籍番号を指定して、成績台帳の修正が行えること。また、CSV ファイルを読み込み、成績を一括で登録できること。
8. 成績原簿を出力できること。
9. 成績通知書を出力できること。
10. 卒業生の成績の追加、変更、削除ができること。
11. 卒業不可者不合格科目一覧をできること。
12. 追再試験の対象者となる学生を成績から判断して抽出し、追再試験の受験対象者として登録できること。
13. GPA 計算で計算を行った結果を一覧で出力できること。
14. 科目振替一覧を出力できること。

1.3.9. 進級・卒業判定

1. 成績（修得した成績）、履修授業及び卒業条件から卒業見込の判定を行えること。
2. 学生を指定して卒業見込判定の結果を登録又は更新できること。
3. 卒業見込不可者の一覧をカリキュラム学科組織別に出力できること。
4. 成績（修得した成績）と卒業条件から、卒業の可否を判定できること。
5. 学生を指定して卒業判定結果を登録又は更新できること。
6. 卒業判定資料を出力できること。
7. 卒業可能な学生に学位記番号を付番できること。
8. 卒業判定で卒業となった学生に対して、卒業を確定し、卒業確定者の一覧を出力できること。
9. 成績（修得した科目）、履修授業、及び進級条件から進級見込を判定できること。
10. 進級見込不可となった学生の一覧を出力できること。
11. 成績（修得した成績）と進級条件から進級の可否を判定できること。
12. 学生を指定して進級判定の結果又は更新を登録できること。
13. 進級判定資料を出力できること。
14. 進級判定で進級となった学生に対して、進級を確定できること。

1.3.10. 資格処理

1. 資格希望者を随時に登録できること。また、CSV ファイルを読み込み、希望者を一括で登録できること。
2. 資格取得見込判定ができること。
3. 資格取得判定ができること。
4. 資格判定結果を随時に登録できること。
5. 資格取得状況の一覧を出力できること。

1.3.11. 学籍情報管理

1. 学籍台帳に学籍番号を付番できること。
2. 学籍情報の登録、更新、削除が行えること。また、CSV ファイルを読み込み、学籍情報を一括で登録できること。
3. 学籍情報リストを出力できること。
4. 複数の条件を指定して、学籍情報の照会が行えること。
5. 学生名簿を出力できること。
6. 学生宛名ラベルの宛先設定及び出力ができること。
7. CSV ファイルを読み込み、学生の自由設定項目情報を一括で登録できること。また、登録さ

れた学生自由設定項目情報を出力できること。

8. 同一の異動情報を学生に対して登録できること。
9. 学科組織の異動、又は学生番号の変更ができること。
10. 異動者の一覧を出力できること。
11. 現在休学中の学生を対象に、復学処理を行えること。
12. CSV ファイルを読み込み、修了予定を過ぎている学生に対して修了を一括で登録できること。
13. 文面を設定して各種通知書を出力できること。
14. 学生証データを出力できること。
15. 学割証を出力できること。
16. 在籍学生数一覧を出力できること。
17. 卒業生に関する情報を登録できること。

1.3.12. 証明書発行

1. 学生ごとに各種証明書を出力できること。
2. 以下の証明書を出力できること。
在籍期間証明書、英文在籍期間証明書
在学証明書、英文在学証明書
成績証明書、英文成績証明書
卒業証明書、英文卒業証明書
卒業見込証明書、英文卒業見込証明書
健康診断証明書
3. 健康診断の情報は、身長、体重、視力、血圧（最高・最低）、尿検査（糖、潜血、蛋白、ウロビリノーゲン）、血液検査（赤血球、血色素量、WBC、HT、PLT）、X線検査、内科検診所見を年度ごとに登録でき、健康診断受診票にも同事項が全て表示されること。
4. 証明書発行の発行 No 管理ができること。また、発行履歴の一覧を出力できること。
5. 健康診断情報に対して、自由項目を作成し管理できること。

1.3.13. 年次更新

1. 学年、セメスタの年次更新が行えること。

1. 4. 教務機能(Webサービス)

1.4.1. 学生用機能

1. 学生が学内情報処理教室パソコンから当該年度のシラバスを参照できること。
2. 学生が学外からパソコン及びスマートフォンで当該年度のシラバスを参照できること。
3. 学生が自らの履修科目を学内情報処理教室パソコンから登録可能であること。
4. 学生が自らの履修科目を学外からパソコン及びスマートフォンで登録可能であること。

5. 休業期間中でも、学生が学外から履修登録ができること。
6. 履修科目登録は、科目一覧から選択できること。また、科目を選択することによりシラバスを参照することができること。登録内容に間違いがあった場合はエラーメッセージを表示させ、修正しなければ登録できないようにすること。
7. 登録済みの履修科目の変更ができること。
8. 学生が履修登録可能な期間及び登録済み履修科目の変更期間を、教務担当職員により事前に設定できること。
9. 学生は登録した履修科目を確認することができること。
10. 学生は履修登録情報に対応した休講・補講・教室変更に関する情報がポータル画面に表示されること。

1.4.2. 教職員用機能

1. 教員が研究室パソコンから担当科目のシラバス登録ができること。なお、シラバスの公開項目、項目名、レイアウト等は自由に設定ができること。シラバス項目は年度管理し、年度間でコピーができること。
2. 教員が担当科目の履修者状況を確認できること。また、履修者の成績登録ができること。
3. 履修登録未完了者の照会ができること。
4. 時間割変更（休講・補講・教室変更）時に、履修学生・履修学生の保護者・授業担当教員へ同時に掲示配信を行うことができること。
5. 職員は他ユーザに成り代わって他ユーザ（学生、教員、保護者）と同じ画面を操作できること。

1.4.3. オンライン授業及びペーパーレス化支援機能

1. 授業単位で、教員が履修者に対して課題を作成し、学生が課題の提出を行えるようにすること。また、教員が課題の提出状況確認や、課題へのコメントや評価をつけることができること。
2. 授業単位で、教員が授業資料として電子ファイル（ワード、エクセル、PDF等）を登録し、学生はダウンロードして閲覧できること。
3. 学生が、教職員に対して質問を送信することができること。
4. 学外から、成績照会ができること（大学の設定により、学生に成績情報を表示させないことも可能であること）。
5. 教職員又は教務担当職員から学生に安否確認を配信できること。学生は配信された安否確認を学外のパソコン又はスマートフォンから回答できること。